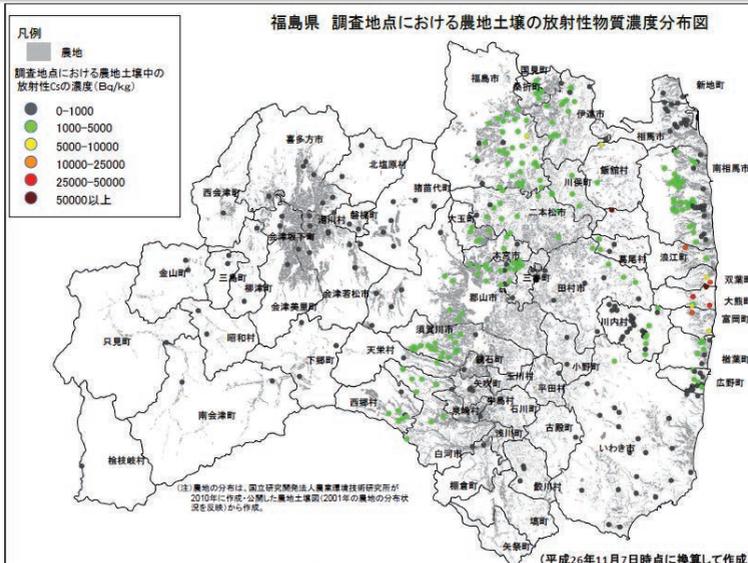


放射性セシウム（福島県）



東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、今後の営農に向けた取組を進めるために、福島県内のほ場 417 箇所において農地土壌がどの程度放射性物質に汚染されているか調査が行われました。

環境省が行っている一般の土壌調査では深さ約 5 cm までの土壌が採取されていますが、農地の土壌調査では放射性物質が耕起によって攪拌される深さや農作物が根を張る深さ等を考慮して、地表面から深さ約 15cm までの土壌が採取されています。結果としては、前回（平成 26 年 10 月公表）の濃度分布図と比較して、避難指示区域外の水田で約 10%、避難指示区域外の畑で約 11%、牧草地及び樹園地で約 7%、放射性セシウムの濃度が低下していることが分かりました。なお、この期間における放射性セシウムの物理的減衰に伴う土壌濃度の低下は約 10%です。

(関連ページ：下巻 P23、「セシウム 134、セシウム 137（広域）」)

本資料への収録日：平成 25 年 3 月 31 日

改訂日：平成 28 年 1 月 18 日